シラバス集

小山歯科衛生士専門学校 歯科衛生士学科 3 年

2024 年度

シラバスの見方

※この PDF ファイルには目次(しおり)がついています。スマートフォンを使用中の方は画面上の設定等から目次を呼び出してご利用ください。

授業科目名		1			
実務経験講師	2	実務経験	3		
開講年度	4 年度	学 期	6		
年 次	⑤ 年次	授業回数	<u> </u>		
単 位 数	単位	単位時間数	時間		
授業科目の概要	8				
授業科目の到達目標	9				

授業スケジュールと内容

口	内	9	容		授業方法	課題/小テスト
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7				10		
8						
9						
10						
11						
12						
13		·				
14						
15						

使用テキスト	\oplus
参考書・資料 等	
この授業科目の前提と	
なる主な科目	
この授業科目から発展	
する主な科目	
成績評価の方法	
その他	
受講生への要望等	

① 授業科目名

2 実務経験講師

講師に担当する科目に関係する実務経験がある場合、「○」がついています。

実務経験とは・・・資格をもっているだけではなく、実際の施設等で資格を活かして働いた経験がある ということ。

※一部を除き、違う学校で同様の科目を教えている等の教員経験は実務経験に含まれません。

3実務経験

担当講師の実務経験内容を簡単に記してあります。

4開講年度

⑤年次

授業を受ける学年です。

6学期

前期・・・4月~9月

後期・・・10月~3月

通年(全期)・・・1年間を通して、もしくは前期~後期にかかるどこかの期間で

⑦授業回数

⑧授業科目の概要

授業内容の大まかな説明です。

⑨授業科目の到達目標

授業が修了した時に到達するべき学修の目標です。

⑩授業スケジュールと内容

内容・・・1回の授業がどのような内容で構成されているか

授業方法・・・講義、演習、実習など

課題/小テスト・・・その授業の回に課題や小テストが課されている場合は記載されます。予習の内容が 書かれている場合もあります。

①使用テキスト

授業で使用するテキストの情報です。プリント等オリジナル教材を使用する場合もあります。

歯科衛生学科 授業科目一覧

	1用工于们 汉	光竹口 克	指定		学	則		1年	三次		2年次				3年次			
区	教育内容	授業科目名	規則	授業			前			期	前			:期	前	期		頻
分	4X H 1 1 /1	汉太江百石	の単 位数	形態	単位数	時間数									単位数			
		生物学	11.00	誰主	-	15	平位数	15		可旧数	中世奴	可則数	平世数	、时间数	中世数	可间数	中世級	、时间数
	科学的思考の基盤			講義	1		2											
基	人間と生活	総合基礎		講義	2		Z	30								—		1.5
礎		統計学	10	講義	1	15						0.0				—	1	15
分		歯科医療接遇		講義	2	30			-		2	30					<u>:</u>	
野		情報科学		演習	2	30	1	15		15								
		コミュニケーション学		演習	2	30	1	15		15								
		・野・小計	10		10	150	5	75		30	2	30	0	0	0	0	1	15
		解剖学		講義	1	15	1	15										
	> > 144->11 > 111: 61-	生理学	4	講義	1	15			1	15								
	く。)の構造と機能	生化学		講義	1	15			1	15								
#		栄養学		講義	1	15					1	15						
専		組織発生学		講義	1	15	1	15										
門	歯・口腔の構造と	口腔解剖学 I	5	講義	2	30	2	30										
1 3	機能	口腔解剖学Ⅱ	ľ	演習	1	15			1	15								
基		口腔生理学		講義	1	15			1	15								
		病理学		講義	1	15	1	15]		
礎	疾病の成り立ち及び	口腔病理学	6	講義	1	15									1	15		
\wedge	回復過程の促進	薬理学	"	講義	2	30	2	30										
分		微生物学		講義	2	30			2	30								
野		衛生行政·福祉論		講義	2	30									2	30		
~7	歯・口腔の健康と予	衛生学総論	7	講義	1	15	1	15										
	防に関わる人間と社 会の仕組み	口腔衛生学	7	講義	2	30			2	30								
	五・クロルロ・)・	公衆衛生学		講義	2	30			2	30								
	専門基礎	分野・小計	22		22	330	8	120	10	150	1	15	0	0	3	45	0	0
	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	2	講義	2	30	2	30										
		歯科保存学		講義	1	15					1	15						
		歯周療法学		講義	1	15					1	15						
		歯科補綴学	-	講義	1	15					1	15						
		口腔外科学•麻酔学		講義	1	15					1	15						
	臨床歯科学	小児歯科学	8	講義	1	15					1	15						
		歯科放射線学		演習	1	15					1	15						
		歯科矯正学		講義	1	15					1	15						
		障害者•高齢者歯科学		講義	1	15					1	15						
		予防システム論		講義	1	15	1	15			_	10						
		歯周病予防法 I		実習	2			30		30						\vdash		
車	歯科予防処置論	歯周病予防法Ⅱ	8	実習	4	120	1	30	1	30	2	60	2	60				
4	困杆丁仍是直冊	う蝕予防法 I	٥		1	30	1	30				00		00				
門				講義			1	30			1	20						
		う蝕予防法Ⅱ			1	30	0	co	0	co		30						
分	歯科保健指導論	保健指導論 I	7	実習	4	120	2	60	2	60								-
pro-		保健指導論Ⅱ		実習	4	120					2	60	2	60				
野		歯科診療補助法I		実習	2		1	30	1	30								
	歯科診療補助論	歯科診療補助法Ⅱ	9	実習	4	120					2	60		-		—		
		業務管理		講義	1	15							1	15				
		医療安全		演習	2	30									2	30		
		実習指導 I		演習	1	30			1	30						—		
		実習指導Ⅱ		演習	2	45					1	15	1	30				
	臨地実習(臨床実習	実習指導Ⅲ		演習	3	90									2	60	1	30
	を含む。)	臨地·臨床実習 I	20	実習	1	45			1	45								
		臨地·臨床実習Ⅱ		実習	5	225							5	225				
		臨地•臨床実習Ⅲ- I		実習	5	225									5	225		
		臨地·臨床実習Ⅲ-Ⅱ		実習	5	225											5	225
	専門分	予野・小計	54		58	1755	8	195	6	195	16	345	13	450	9	315	6	255
		医学基礎		講義	1	15									1	15		
	選択必修分野	知識の統合		講義	3	90									1	30	2	60
		総合歯科学	7	講義	3	90											3	90
		까다 다 된 기 1								- 00							,	
		特別活動I		演習	2	45	1	15	1	30						L :	· ·	
				演習 演習	2 1	45 15	1	15	1	30	1	15						
		特別活動 I 特別活動 II	7				1	15		30	1			0	2	45	5	150

[※] 講義及び演習科目は15~30時間、実習科目は30時間、臨地実習及び臨床実習は45時間の授業時間をもって1単位とする。

授業科目名	統計学					
実務経験講師	0	実務経験	歯科衛生士			
開講年度	2024 年度	学期	前期			
年 次	3 年次	授業回数	8 🛛			
単 位 数	1 単位	単位時間数	15 時間			
	統計の意義、目的を理解する					
授業科目の概要	主な統計手法を学ぶ					
	統計の活用法を学ぶ	統計の活用法を学ぶ				
	統計学を学び、ヒトの健康事象を扱う保険統計を理解する。					
授業科目の到達目標	保健情報で保健・医療・福祉などの健康に関した情報を判断する能力を養う。					
投来付白の到達日標	疫学を学び疾病の原因と結果の	の因果関係を理解する。				
	政府統計を理解する。					

	内 容	授業方法	課題/小テスト
	保健情報と保健統計	講義	完全攻略本
1	・統計学について、保健統計とは何か	スライド	プリント配布
	・保健統計学の目標、種類、国家統計調査		
2	保健情報と疫学	講義	教科書 保健生態論
2	健康障害の発生要因、方法論	スライド	完全攻略本
	歯科疾患の指数①	講義	教科書 歯科保健指導論
3	・う蝕の指数		完全攻略本
	・歯周疾患の指数		プリント配布
	歯科疾患の指数②	講義	教科書 歯科保健指導論
4	・口腔清掃状態の指数		完全攻略本
	・摂食・嚥下障害のスクリーニングテスト		プリント配布
5	保健情報の分析手順	講義	完全攻略本
5	・母集団と標本抽出	スライド	スマホ
	保健統計の方法	講義	完全攻略本
6	・データの尺度		
0	·t検定 χ²検定 について		
	・図表の種類と特徴		
	まとめ	講義	教科書 保健生態論
7	・授業の復習	スライド	完全攻略本
	・定期試験について		
8	定期試験	試験	

体田ニャフト	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3
使用テキスト	保健情報統計学
参考書·資料 等	
この授業科目の前提と	歯科保健指導
なる主な科目	衛生学
この授業科目から発展	衛生学、保健指導、公衆衛生学
する主な科目	予防歯科、栄養学
成績評価の方法	定期テスト 90%、授業態度 10%
その他	欠課、遅刻、忘れ物のないよう受講して下さい。
受講生への要望等	国家試験問題も併せて学んでいただきます。

授業科目名	口腔病理学				
実務経験講師	0	実務経験	歯科医師		
開講年度	2024 年度	学期	前期		
年次	3 年次	授業回数	8 🛛		
単 位 数	1 単位	単位時間数	15 時間		
	口腔病理学は口腔内に現れる乳				
授業科目の概要	 歯科衛生士として口腔内を観察	終し正常なのか異常がある	らのか、異常があるならそれが何かを		
	理解することで治療へと繋がり	ます。			
	1 口腔の正常な状態を説明できる				
	2 口腔の異常を識別できる				
授業科目の到達目標	3 全身疾患と関連した関連した異常を説明できる				
	4 先天異常を識別できる				
	5 異常の原因を説明できる				

回	内容	授業方法	課題/小テスト
1	口腔病理の概要について	講義	
•	1章 歯の発育異常		
2	2章 歯の損傷と着色・付着物	講義	
۷	3章 う蝕		
3	4章 象牙質・歯髄複合体の病態	講義	
3	5章 歯周組織の病態		
4	6章 口腔粘膜の病変	講義	
7	7章 口腔領域の嚢胞と腫瘍		
	8章 口腔癌	講義	
5	9章 顎骨の病変		
	10章 唾液腺の病変		
6	11章 口腔領域の奇形	講義	
O	12章 口腔組織の加齢変化		
7	口腔病理総復習、まとめ	講義	
8	定期試験	定期テスト	

体田ニャフト	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学
使用テキスト	全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書·資料 等	なし
この授業科目の前提と	病理学
なる主な科目	

この授業科目から発展	口腔外科学
する主な科目	
成績評価の方法	定期テスト
その他	
受講生への要望等	

授業科目名	衛生行政·福祉論					
実務経験講師	0	実務経験	歯科衛生士			
開講年度	2024 年度	学期	前期			
年 次	3 年次	授業回数	15 🛽			
単 位 数	2 単位	単位時間数	30 時間			
授業科目の概要	福祉について考え、社会生活を営んでいく上での社会規範を知り、歯科衛生士に関する法					
女業付日の佩女	規を学びその知識を身につける	5 .				
	1、衛生行政の概要(目的・組織	1、衛生行政の概要(目的・組織 他)を理解し「衛生法規の分類」が記述できる。				
	2、歯科関係三法の概要(細則	2、歯科関係三法の概要(細則・免許・試験・業務)を記憶し歯科衛生士の業務について説				
授業科目の到達目標	明ができる。					
	3、社会保険と社会福祉の体系を理解し記憶する。					
	4、歯科衛生士国家試験に向けた試験対策知識を理解し身につける。					

回	内容	授業方法	課題/小テスト
1	わが国の医療制度	講義・演習	
2	歯科衛生士法	講義	小テスト
3	歯科医師法·歯科技工士法	講義	小テスト
4	他の医療職種	講義	小テスト
5	関係法規	講義	小テスト
6	医療動向 中間試験	講義	小テスト
7	社会保障について 社会保障の定義と内容	講義	小テスト
8	社会保障行政機構の概要	講義	小テスト
9	社会福祉について 社会福祉行政	講義	小テスト
10	地域包括支援システム	講義	小テスト
11	介護保険制度	講義	小テスト
12	税金の仕組み・年金制度について	講義	小テスト
13	障害者の福祉制度	講義	小テスト
14	精神保健・災害時の精神保健	講義	小テスト
15	定期試験	講義	_

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科衛生士と法律・制度
参考書·資料 等	
この授業科目の前提となる	公衆衛生学·保健指導論
主な科目	
この授業科目から発展する	公衆衛生学
主な科目	
成績評価の方法	定期試験·授業態度
その他	法律や制度は大変難しいので、良く予習復習して少しずつ理解していきましょう。
受講生への要望等	

授業科目名	医療安全			
実務経験講師	○ 実務経験 歯科衛生士			
開講年度	2024 年度	学期	前期	
年 次	3 年次 授業回数 15 回		15 回	
単 位 数	2 単位 単位時間数 30 時間		30 時間	
	1. 医療安全と感染予防について理解し実践できる。			
	2. 成人・小児等の一次救命救急に対する理解ができる。			
授業科目の概要	3. 誤嚥・アナフィラキシーショック・低血糖発作・止血などの一般的な救急対応と処置につい			
☆ 投来付日の帆安	て理解ができる。			
	4. 主要疾患とその対応について理解できる。			
	5. 臨床検査データとその意味	について理解できる。		
授業科目の到達目標	臨床検査の方法と疾患に関する	る数値のデータを覚える。		
以来付口の判廷日信	チーム医療に携わる一員として	確実に理解する。		

回	内容	授業方法	課題/小テスト
1	医療安全と感染予防	講義	
2	感染予防対策 滅菌・消毒 医療廃棄物の取扱い	講義	小テスト
3	臨床検査とは	講義	小テスト
4	生理機能検査 バイタルサインの測定	講義 実習	実習記録
5	血液学的検査	講義	小テスト
6	感染症の検査	講義	小テスト
7	肝機能・腎機能検査	講義	小テスト
8	糖尿病の検査	講義	小テスト
9	代謝·内分泌疾患、病理学的検査	講義	小テスト
10	免疫·血清学的検査	講義	小テスト
11	画像検査	講義	小テスト
12	口腔領域の臨床検査	実習	小テスト
13	救急救命講習①	講義 実習	
14	救急救命講習② AED の取扱い	実習	
15	定期試験	定期テスト	_

# m = + > 1	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論
使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 臨床検査
参考書・資料 等	
この授業科目の前提と	解剖学、生理学、生化学
なる主な科目	

この授業科目から発展	歯科診療補助論
する主な科目	
成績評価の方法	定期試験(80点) 出席・実技・忘れ物・態度状況(20点)
20th	医療人として必要な知識と技術の習得が目標です。国家試験でも臨床歯科医学として検査の
その他 受講生への要望等	数値や疾患との兼ね合いが出ます。これからのチーム医療で必要となる知識です。チーム医療
文碑土への安里寺	に携わる一員として確実に理解しましょう。

授業科目名	実習指導Ⅲ			
実務経験講師	○ 実務経験 歯科衛生士		歯科衛生士	
開講年度	2024 年度	学期	通年	
年 次	3 年次	授業回数	45回	
単 位 数	3 単位	単位時間数	90 時間	
授業が日の福亜	歯科衛生士として様々な活躍の理		うな知識や技術が必要かを考え、習得	
授業科目の概要	していく科目です。			
	1. 学齢期の歯科検診の実践ができる			
	2. 乳幼児に対する口腔保健指導ができる			
	3. 高齢者の特徴がわかる			
	4. 認知症や全身疾患を理解し、安全を考慮した対応ができる			
授業科目の到達目標	5. 高齢者に対する口腔保健指導ができる			
	6. 大学病院の口腔外科での診療内容を把握する			
	7. 衛生・不衛生の概念をしっかりと把握する			
	8. 小外科手術のアシストができる			
	9. 保健指導や予防処置を実践で	だきる		

	内 容	授業方法	課題/小テスト
	臨床実習Ⅲについて	講義	課題 手引きの確認
	実習の手引き		
1	3年次実習目標 到達目標 身だしなみ		
	学校歯科検診について		
	【キーワード】感染予防 症例に応じた器具・器材		
	歯科医院実習指導	講義	
2	日誌の記入の方法 診療記録の読み方		
	【キーワード】業務管理 術式		
3	歯科医院実習指導 <相互実習>①	実習	
3	口腔内観察、プロービング、バキューム操作、TBI,		
4	歯科医院実習指導 <相互実習>②	実習	
4	超音波スケーラー、PMTC		
	学校歯科検診指導①	講義	学校保健について
5	・要項・検診の流れ確認	演習	
	・グループ分けの発表・・シュミレーション		
	学校歯科検診指導②	講義	
6	・学齢期について・・検診表の見方	演習	
	・歯式の確認		
	臨床実習前オスキー試験①	実習(試験)	
7	・オスキー試験		
	・歯牙模型の配列試験		

	臨床実習前オスキー試験②	実習(試験)	
8	・オスキー試験		
	・歯牙模型の配列試験		
	2 歳児歯科健康診査実習指導①	講義	課題 母子保健について
	・日程・・・実習目標		
9	·事前学習 ·1 日の流れ		
	【キーワード】母子保健 関連職種		
	2 歳児歯科健康診査実習指導②	講義	
	事前調べ学習		
10	【キーワード】リガフェーデ病 リーウェイスペース		
	臨床実習Ⅲ-Ⅰ振り返り	講義	
11	・中間反省会、最終反省会の発表		
	高齢者施設実習指導	講義	
10	·概要·事前学習		
12	・日程・単位・評価について		
	【キーワード】老人保健 関連職種		
	高齢者施設実習指導	講義	
13	実習の展開 実習日誌		
	【キーワード】介護保険制度 施設事業内容		
	高齢者施設実習指導	講義	
14	実習施設の概要 調べ学習		
	【キーワード】介護保険制度 施設事業内容		
	高齢者施設実習 事前講義	講義	課題 確認テスト
15	高齢者とのコミュニケーションの図り方		
	認知症について		
	高齢者施設実習指導	実習	
16	認知症高齢者の対応		
10	間接訓練、口腔体操、口腔ケア、義歯の取り扱い 実習		
	【キーワード】あいうべ体操、間接訓練、保湿		
117	高齢者施設実習	講義	
17	オリエンテーション		
10	高齢者施設実習	講義	
18	口腔ケア・レクレーション計画	演習	
	高齢者施設実習	演習	
19	口腔ケア・レクレーション準備		
20	臨地実習発表準備		
	臨地実習の発表	演習	
21	発表		
	大学病院実習指導	講義	実習所の場所、交通手段
22	·概要 ·事前学習	-1110	の確認
	MV 1011 H	<u> </u>	- > bir him

	・日程・単位・評価について		
	【キーワード】 病院歯科の役割 受診の流れ		
	大学病院実習指導	講義	
23	口腔外科領域		
	【キーワード】病院歯科の役割 受診の流れ		
	大学病院実習事前学習	講義	課題 全身疾患や口腔疾
	悪性腫瘍・良性腫瘍について		患についてのレポート
2.4	口唇・口蓋裂について		
24	病院内の集中治療室について		
	清潔域・不潔域 オペ室について		
	嚥下機能について(VE・VF)		
	大学病院実習事前学習	講義	
	悪性腫瘍・良性腫瘍について		
25	口唇・口蓋裂について		
25	病院内の集中治療室について		
	清潔域・不潔域 オペ室について		
	嚥下機能について(VE・VF)確認テスト		
26	大学病院実習 事前講義	講義	
27	大学病院実習指導	講義	感染症について記入
21	手洗い 外科用グローブ等の取り扱い 縫合・麻酔準備	演習	
	大学病院実習事前学習	講義	
28	全身疾患についてレポート(1人 I 疾患について)		
	PP で発表について		
29	大学病院実習指導	講義	
2)	レポート作成		
30	大学病院実習指導	講義	確認テスト
50	外科器具の種類と名称・取り扱い		
31	大学病院実習事前学習	講義	
51	難抜歯について 器具の準備 術式	演習	
32	大学病院実習事前学習	確認テスト	
52	難抜歯について 器具の準備 術式 オスキー試験		
33	大学病院実習事前学習	確認テスト	
	難抜歯について 器具の準備 術式 オスキー試験		
34	大学病院実習事前学習	講義	冊子
J 1	課題発表	演習	PP での発表
35	大学病院実習事前学習	講義	PPでの発表
	課題発表	演習	
36	摂食嚥下講座	講義	
	伊藤先生		
37	摂食嚥下講座	講義	
37	伊藤先生		

38	大学病院実習 実習前確認テスト	講義	
30	オリエンテーションの確認		
39	大学病院実習 実習前確認実習	演習	
39	清潔、不潔域 滅菌グローブの着脱		
40	3 年間の実習を振り返って	講義	
40	大学病院実習の発表に向けて資料作り①		
41	大学病院実習の発表に向けて資料作り②	講義	
42 大学病院実習の発表に向けて資料作り③		講義	
43	発表会①	講義	
43	自治医科大学附属病院 口腔外科にて実習		
44	発表会②	講義	
44	獨協医科大学病院 口腔外科にて実習		
45	臨地・臨床実習Ⅲ-Ⅱ 振り返り	講義	
45	総まとめ		

体田二十つし	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
使用テキスト	「小児歯科」「高齢者歯科」
参考書·資料 等	ポケットマニュアル
この授業科目の前提と	全て
なる主な科目	
この授業科目から発展	歯科診療補助·歯科保健指導·歯科予防処置
する主な科目	
式装団体の大法	出席状況(70 点)、小児の発達レポート(10 点)、大学病院実習事前課題(10 点)
成績評価の方法	実習の振り返り(10 点)
その他	課題は提出期限を守ってください
受講生への要望等	体調を整えて、欠席をしないようにしましょう。

授業科目名	臨地·臨床実習Ⅲ			
実務経験講師	0	実務経験	歯科衛生士	
開講年度	2024 年度	学期	通年	
年次	3 年次	授業回数		
単 位 数	10 単位	単位時間数	450 時間	
	学内で学んだ知識・技術・態度をも	らとに、歯科医療現場で実践	実習を行います。	
授業科目の概要	様々な歯科医療現場での歯科衛	生士の役割を認識し、責務を	を自覚した行動がとれる能力を養うた	
めの実習です。				
	1. 歯科衛生士の公衆衛生活動を知る			
	2. 乳幼児への歯科衛生指導の内容がわかる			
	3. 高齢者施設での歯科衛生活動の内容がわかる			
	4. 歯科診療所で歯科予防処置ができる			
授業科目の到達目標 	5. 歯科診療所で歯科保健指導ができる			
	6. 大学病院と一般歯科診療所の違いがわかる			
	7. 要介護者、全身疾患患者への対応ができる			
	8. 多職種連携の中での歯科衛生士の役割がわかる			

回	内 容	授業方法	課題/小テスト
	歯科医院実習(臨床実習Ⅲ-I)	190 時間	臨地·臨床実習日誌
			実習後振り返り
	2 歳児歯科健診(臨地実習)	1日(7時間実習)	臨地·臨床実習日誌
			実習課題、振り返り
	高齢者施設実習(臨地実習)	6 時間×10 日(60 時間)	臨地·臨床実習日誌
			実習課題、振り返り
	歯科医院実習(臨床実習Ⅲ-Ⅱ)	176 時間	臨地·臨床実習日誌
			実習後振り返り
	大学病院実習(臨地実習)	35 時間	臨地·臨床実習日誌
		7 時間実習×5 日	実習後振り返り

使用テキスト	新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社
参考書·資料 等	
この授業科目の前提と	臨地·臨床実習Ⅰ、臨地·臨床実習Ⅱ、実習指導Ⅲ
なる主な科目	
成績評価の方法	出席状況(5割)、実習先担当者の評価・実習評価(5割)
その他	校外実習のため、指導者の指示に従い実習を行うことになります。
受講生への要望等	学生としての謙虚さと、歯科衛生士としての現場に出るという意識をもって臨んでください。

授業科目名	医学基礎		
実務経験講師	0	実務経験	医師
開講年度	2024 年度	学期	前期
年 次	3 年次	授業回数	8 🛛
単 位 数	1 単位	単位時間数	15 時間
西	1 個人の医学に対する知識を身につける。		
授業科目の概要	2 国家試験の基礎学力を学ぶ。		
	1 個人の医学に対する知識を身につけ理解する。		
授業科目の到達目標	2 国家試験の基礎学力を学び、生かす。		

回	内 容	授業方法	課題/小テスト
1	オリエンテーション (人体)	講義	
2	脳神経、消化器	講義	
2	肝、胆、膵		
3	心臓、脈管疾患	講義	
3	内分泌、代謝(腎、泌尿器)		
4	免疫病、アレルギー性疾患、膠原病	講義	
4	血液、造血器疾患 血液、造血器疾患		
5	感染症	講義	
5	小児、救急医学		
6	中毒、物理的原因による疾患	講義	
	基礎問題 I	講義	
7	基礎問題Ⅱ		
,	基礎問題Ⅲ		
	直前講義		
8	定期試験	定期テスト	

使用テキスト	イラストで病気を理解する ビジュアルノート
参考書·資料 等	なし
この授業科目の前提と	解剖学
なる主な科目	
この授業科目から発展	生理学、生化学、病理学
する主な科目	
成績評価の方法	定期試験
その他	
受講生への要望等	

授業科目名	知識の統合		
実務経験講師	0	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2024 年度	学期	1年
年 次	3 年次	授業回数	45回
単 位 数	3 単位	単位時間数	90 時間
授業科目の概要	これまでの学習した知識を統合し、臨床で応用できる能力を養う		
授業科目の到達目標	これまでの学習した知識を統合し、臨床で応用できる能力を養い知識の理解を深める		

回	内 容	授業方法	課題/小テスト
1	日常生活自立度、口腔清掃自立度について	講義	
2	口腔保健管理の理解(施設、居宅)	講義	
3	介護保険と口腔保健管理	講義	
4	口腔機能の向上サービス	講義	
5	訪問口腔衛生指導、口腔機能アセスメント①	講義	
6	訪問口腔衛生指導、口腔機能アセスメント②	講義	
7	口腔ケアプラン①	講義	
8	口腔ケアプラン②	講義	
9	居宅療法管理指導の記録	講義	
10	周術期について 周術期の口腔管理	講義	
11	障害者、有病者の歯科診療	講義	
12	生涯を通じた歯科保健対策① 対策と歯科的問題点	講義	
13	生涯を通じた歯科保健対策② 妊産婦、乳児・幼児期	講義	
14	生涯を通じた歯科保健対策③ 学童期、青年期	講義	
15	生涯を通じた歯科保健対策④ 成人期、老年期	講義	
16	う蝕活動性試験	講義	
17	フッ素応用	講義	
	フッ素中毒量算出方法	講義	
18	フッ素量算出方法		
	フッ化ナトリウム算出方法		
19	歯周疾患予防の臨床	講義	
20	歯周疾患に用いる指数	講義	
21	口腔清掃と口腔観察 付着物・沈着物について	講義	
22	化学的プラークコントロール	講義	
23	歯ブラシ(種類、名称、形態、管理)について	講義	
24	各種ブラッシング法	講義	
25	プラークコントロールの補助用具	講義	

26	食生活と口腔保健、バランスガイド、BMI	講義	
27	口腔保健の意義、健康の概念、予防3相	講義	
28	法律と制度	講義	
	地域保健·公衆衛生	講義	
29	プライマーヘルスケア、ヘルスプロモーション、健康日本 21(目標値)		
	歯科疾患実態調査について		
30	感染症について	講義	
31	滅菌、消毒、洗浄について	講義	
32	感染症廃棄物の取り扱いについて	講義	
33	歯科材料の取り扱いについて	講義	
34	セメントの種類	講義	
35	仮封材について	講義	
36	印象材について	講義	
37	模型材とトリミング	講義	
38	歯科用機器の取り扱い(ユニット、レーザー等)	講義	
39	全身疾患患者への対応(薬)	講義	
40	全身疾患患者への対応(介助)	講義	
41	全身疾患患者への対応(偶発時の対処)	講義	
42	歯科予防法の総まとめ	講義	
43	歯科保健指導の総まとめ	講義	
44	歯科診療補助の総まとめ	講義	
45	定期試験	試験	

使用テキスト	最新歯科衛生士教本「保健生態学」「歯科診療補助論」「歯科予防処置論・歯科保健指導論」				
使用ナキスト	全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版				
参考書·資料 等					
この授業科目の前提と	歯科診療補助論、歯科保健指導論、歯科予防処置論、高齢者歯科学、口腔衛生学、公衆衛生学				
なる主な科目					
この授業科目から発展	臨床実習Ⅲ-Ⅱ				
する主な科目					
成績評価の方法	出席、授業態度、実技試験、筆記試験で総合的に判断				
その他	施設実習や臨床実習に向けて応用できるように能力を養いますので重要な科目となります。				
受講生への要望等	欠席の無いようにしてください。				

授業科目名	総合歯科学		
実務経験講師	0	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2024 年度	学期	後期
年 次	3 年次	授業回数	45回
単 位 数	3 単位	単位時間数	90 時間
授業科目の概要	臨床に沿った治療の流れやそのベースとなる知識の定着を図る		
国家試験に向けての知識の定着を図る			
	歯の口腔の基礎知識の理解する		
	う蝕の治療法(保存療法学・修復学)の理解する		
	歯周病の分類~歯周外科まで 歯周療法の理解する		
授業科目の到達目標	口腔外科学を理解する		
	小児歯科学を理解する		
	歯科矯正学を理解する		
歯科補綴学を理解する			

回	内 容	授業方法	課題/小テスト
1	歯の口腔の基礎知識①	講義	
2	歯の口腔の基礎知識②	講義	小テスト
3	窩洞の分類 治療法 術式 使用器具について	講義	小テスト
4	直接修復法 術式 使用器具について	講義	小テスト
5	歯間分離、隔壁 術式 使用器具について	講義	小テスト
6	間接修復法 術式 使用器具について	講義	小テスト
7	保存修復のまとめ・復習	講義	保存テスト
8	歯髄炎 治療術式 使用器具について	講義	小テスト
9	覆髄法 術式 使用器具について	講義	小テスト
10	根管治療(麻酔抜髄法) 術式 使用器具について	講義	小テスト
11	根管治療(根管感染治療法) 術式 使用器具について	講義	小テスト
12	根尖性歯周炎 外科治療歯周療法のまとめ・復習	講義	小テスト
13	歯内療法のまとめ	講義	歯内テスト
14	歯肉炎と歯周炎について	講義	小テスト
15	歯周病の流れ、歯周病のリスクファクター	講義	小テスト
16	歯周外科治療 術式 使用器具について	講義	小テスト
17	SPT とメインテナンス	講義	小テスト
18	歯周療法まとめ	講義	歯周テスト
19	印象域、咬合様式、仮想平面	講義	小テスト
20	欠損補綴装置 ブリッジ	講義	小テスト

21	欠損補綴装置 義歯	講義	小テスト
22	義歯の製作工程	講義	小テスト
23	欠損補綴装置 義歯	講義	小テスト
24	CAD/CAM	講義	小テスト
25	その他の補綴物	講義	小テスト
26	補綴のまとめ・復習	講義	補綴テスト
27	清潔域、不潔域、スタンダードプリコーション	講義	小テスト
28	難抜歯 術式 使用器具について	講義	小テスト
29	顎骨骨折、顎関節脱臼、顎関節症について	講義	小テスト
30	口腔病理、腫瘍、口腔がんについて	講義	小テスト
31	唇顎口蓋裂について	講義	小テスト
32	顔面神経麻痺、三叉神経痛	講義	小テスト
33	口腔外科まとめ・復習	講義	口腔外科まとめ
34	小児の心身の発達	講義	小テスト
35	小児の口腔の発達(ヘルマン、空隙)	講義	小テスト
36	歯の形成異常、補隙装置	講義	小テスト
37	乳歯の歯内療法、補綴	講義	小テスト
38	小児のまとめ・復習	講義	小児まとめ
39	歯の位置異常、矯正力	講義	小テスト
40	マルチブラケット装置について	講義	小テスト
41	可撤式矯正装置について	講義	小テスト
42	矯正まとめ・復習	講義	矯正まとめ
43	臨床検査について 検査方法・正常値	講義	小テスト
44	放射線学まとめ	講義	小テスト
45	定期試験	試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学、臨床検査、保存修復・歯内療法、保存修復学、		
使用ナキスト	口腔外科学·歯科麻酔、歯科矯正学、小児歯科学、歯科放射線学		
参考書·資料 等			
この授業科目の前提と	歯周病学、歯科保存療法学、歯科修復学、歯科矯正学、歯科補綴学、歯科口腔外科学、		
なる主な科目	小児歯科学		
この授業科目から発展	国家試験対策		
する主な科目			
成績評価の方法	筆記試験		
その他	国家試験の対策の授業となります。総まとめを行うので 1 つ 1 つの授業が重要になってきま		
受講生への要望等	す。欠席の無いようにしてください。		